

## 令和6年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立大森東小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・地図帳や資料集などの地図やグラフを見て考える機会を増やし、じっくり考える時間を確保した結果、社会の問題点を見出し、自分事として捉える態度が高まった。

#### (2) 課題

- ・地図記号や方位、その他の用語の定着につまずきが見られる。
- ・複数の資料を結び付けて共通項を見付けたり、判断したりする問題につまずきが見られる。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較） △目標値を上回っている ▼目標値を下回っている

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年	知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度 ▼	/	/
第5学年	知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度 ▼	(第4学年時) 知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度 ▼	/
第6学年	知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度 ▼	(第5学年時) 知識・技能 ≍ 思考・判断 ▼ 主体的な態度 ▼	(第4学年時) 知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度 ▼

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市の様子」や「市の様子の移り変わり」の領域は、全国正答率や目標値を下回っている設問が多く、資料の読み取りや学習内容の理解が不十分であるといえる。</li> <li>・地図記号や「店ではたらく人」についての問題は全国正答率より高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を自分の言葉でまとめるなど、文章で表現する力が十分ではない。</li> <li>・生産や販売の領域は、正答率や目標値を上回っている設問が多かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内平均は、ほぼ目標値を下回っている。どの問題も10～20ポイントほど目標値を大きく下回っていた。</li> <li>・類型外誤答率が高いことから、何とか解答しようと課題解決に取り組んでいる。</li> </ul>

##### ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・5学年では、都道府県の様子が目標値に近く、交通についての地図や八方位に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料をもとに考える問題で、5学年では目標値と同じくらいの正答率が多く、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述式の問題では、6学年はやや目標値を下回ったが、工業地帯の出荷額をグ</li> </ul>

<p>ついて学習したことは概ね理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6 学年では、島や湖の名称や「マスメディア」などの用語について学習したことの定着が図れていない。日本の農業や自然環境を生かした産業については概ね理解している。</li> </ul>	<p>6 学年は目標値を大きく下回っている。</p>	<p>ラフにまとめる問題は目標値と近い正答率だった。5 学年は目標値を大きく下回っている。</p>
--	----------------------------	---

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な機会に地図記号や四方位について触れることで、社会科に関する基礎知識の定着を図る。</li> <li>グラフやイラスト等の具体資料では、たくさんの情報を引き出し全員で共有する場の設定をする。</li> <li>実体験できない分野は、デジタル教材などを活用して、理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童一人一人が学習問題を見出せるように導入を工夫をする。興味を引く効果的な教材の選定をしたり、資料の提示の順番・タイミング・大きさを精査したりする。</li> <li>普段の学習から、視点を定めて学習のまとめや授業の振り返りを書かせる活動を行う。</li> <li>なるべく多くの体験学習を設け、学習してきたことを基に思考する学習を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した内容を生活の中でも確認したり生かしたりすることで学習事項を自分事として捉えるようにする等、意欲を高める工夫をする。</li> <li>学習の終末では、「自分ができること」「自分が伝えたいこと」などをテーマにまとめを児童一人一人が考え、学習意義を価値付けていくことを繰り返す。</li> </ul>

#### (2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の興味に合わせて都道府県に触れることができる機会を増やし、知識の確実な定着を図る。</li> <li>日本の地形と気候の特色について、資料や動画を活用し、身近な生活体験と結び付けながら学習させる。</li> <li>重要語句について学習の中でノートに書かせることで知識を定着させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラフや表が出てきた時に、縦軸と横軸が表しているものを確認する。表しているものや数値を正確に読み取らせ、どんなことが分かるか確認する。</li> <li>単元の最初や最後には、経験や既習事項をもとにして、社会的事象について予想したりまとめたりする機会を設ける。</li> <li>普段の学習から、視点を定めて学習のまとめや授業の振り返りを書かせる活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の学習で、資料から分かることや自分の考えを書かせる活動を取り入れ、調べる際に自分に合った方法を選択することで、意欲的に取り組めるように工夫をする。</li> </ul>

